

まとめ

- 市町村の実情は、まさに千差万別
- 接種率の高い自治体は、**実情に合わせてさまざま**
な工夫をこらし、関係部署とよく連携している
 - 自治体: 個別通知⇒未接種者の把握⇒未接種者への繰り返しの勧奨(可能な限り、顔の見える勧奨を)
 - 学校: 顔の見える確認・勧奨の実施場所⇒学校における流行の抑制に直結する
- 地域の実情に合わせた最大限可能な対応を、実情に応じて講ずることが必要